

青年部定期総会

交流を通じて学びと発信を広げる

積極的な意見交換で方針承認

県本部青年部は9月27日、ひょうご共済会館で26単組35人が参加し第29回定期総会を開催。今村龍乃介青年部長は「職場、単組の取り組みで学んだことを、交流を通じて広げてほしい。総会では積極的な発言をお願いしたい」と述べた。経過報告はパワーポイントで「学習」「交流」「平和」「新規事業」の各部の取り組みを紹介し、質疑では「新規事業」を対象とした取り組みは、参加状況を丁寧に把握

することが必要ではないか」との意見に対し「全ての新規参加者まで集約していくが、青年女性大交流会は、22人の初参加があり全員から「満足した」との感想をもらつた」と答弁した。方針では「青年部で平和運動を取り組んでいるが、どれほど平和につながっているのか」といった疑問に對し、執行部は「形骸化させないために青年部では動画作成も取り組んでいる。どのような取り組みができる

ことか、意見も出してもらいたい」と答弁し、総括方針案は賛成多数で承認。今村龍乃介部長（太職）、土田一馬副部長（稻美町子町職）、藤原俊也書記長（香美町職）を選出した。



各課題の問題提起を受けた

地方財政交流会

交付税とカスハラをテーマに課題交流

兵庫地方自治研究センターは9月20日、ひょうご共済会館で「兵庫地方財政・自治研課題交流会」を開催し、自治研センター会員や各単組から23人が参加した。

今年は「地方交付税」と並びに「カスタマーハラスマント」をテーマに、講演①として、地方自治総合研究所・飛田博史副所長が「地方交付税とは（位置付けと役割）と題して講演を行った。地方交付税の位置付けや実際の自治体財政の中でのように処理されているか、組合としてどのような

視点での活用ができるかな」と、問題提起を受けた。

質疑応答では「交付税の積算根拠はあるが、どう支

出するかは基本的に各自治体の裁量」、「人件費の交付税への反映は翌年が基本となる」、「交付税は一部事務組合には直接は交付されないが、構成自治体からの拠出金等で対応されるもの」など

続いて、自治労本部・総合政策局の上野友里子政治局長から「自治体現場でのカスハラの実態と対策」と題して問題提起がされた。

カスハラをめぐる国や自治体の動き、現場における実際の対応や課題など、職場でのカスハラ対策の参考となる内容が話された。

質疑応答では「カスハラ対策については、事実認定に時間がかかるため、事業主として、相談者（職員）保護の観点からの対応も重要な内容が話された。

主催者を代表して河合良宣議長から、「昨年開催した各地域ブロック交流会を継続し、各単組の状況も踏まえ、できる限り兵庫県内の障害を持つ組合員との交流を図つて、幹事会の体制強化に重点において活動を推進する」とあいさつした。議事では、2025年度活動報告、2026年度の活動方針・役員体制を提起し、それぞれ全体の拍手で承認された。

障害労働者評議会は9月20日、県本部会議室において、総会である「第41回自治体に働く障害労働者のつどい」を開催した。

主催者を代表して河合良宣議長から、「昨年開催した各地域ブロック交流会を継続し、各単組の状況も踏まえ、できる限り兵庫県内の障害を持つ組合員との交流を図つて、幹事会の体制強化に重点において活動を推進する」とあいさつした。議事では、2025年度活動報告、2026年度の活動方針・役員体制を提起し、それぞれ全体の拍手で承認された。

見て見ぬ社会に警鐘



全労済自治労共済本部資料より引用

女性部定期総会 声を上げ働きやすい職場へ

県本部女性部は9月27日、ひょうご共済会館で26単組38人が参加し、第29回定期総会を開催。議案は全て賛成多数で承認された。また、役員改選では永井定美咲副部長（豊岡病院労組）が退任し、新たに久保友紀子さん（南あわじ市職労）を副部長に選出した。

総会後は「職場実態を出しあう」と題して、仲間同士で意見交換し、「空調は集中管理。働くフロアにより温度差がある。定時に空調が切れる」「スポーツクーラーのため涼しさが均一ではない」暑さの違った意見が交換された。

さきに危険アラームが設置され、自動車総合補償共済の運営する「マイカー共済」の運営状況を示して、運営する会員組織の問題点や「写真を撮つて当局に状況を示してい」との対策も出され、お互いの職場の状況を知ることで、自身の職場を見直すきっかけとなつた。

澤田典子部長は「声を上げても変わらないと思うのではなく、働きやすい職場をつくるためにぜひ声を上げてほしい」と締めくくつた。

自治体職員の交通事故に大きな力を發揮する 交通事故による、まさかの失職に備えを!

公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であっても過失の罪を問われて職を失うのです。この場合、懲戒免職と同様に、退職金は支払われない場合がほとんどです。このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります!

ごみん共済 NEWS 5125A025

じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

まさか自分が、事故を起こすなんて…

